

# ◆ 温海地域振興計画・地域まちづくり未来事業計画 概要 ◆

## 現状と課題

- 高い品質の農林水産資源
- 特色ある在来作物
- 各地に伝わる  
伝統・文化・歴史資源
- 高い集落自治機能
- あつみ温泉
- NPO等地域活動団体
- 豊かな自然環境

**地理的  
地勢的  
条件**  
地域の9割が  
山林

**人口減少  
少子化  
高齢化**

負のスパイラル

- 農業の規模拡大が困難
- 若者が働く場の不足
- 地域の実情に応じた  
移動手段が不足
- 地域コミュニティ基盤の脆  
弱化
- 商店・医療等  
生活サービス機能低下
- 介護人口の増加
- 土砂災害・津波等の  
災害リスクが高い

## 地域の活性化

- 地域を支える人口
- 地域を支える経済
- 地域を支える環境
- 地域を支えるブランド・プライド



## 重点的課題・地域振興の方向

- ◆「日沿道を地域の活力につなげる」  
(地域資源を活かした産業振興)
- ◆「住み続けられる地域環境の形成」  
(地理的条件を踏まえた人口減少対策)
- ◆「特色ある集落自治機能の維持と  
地域活動団体の振興」



## 外部環境の変化

- 日本海沿岸東北自動車道
- ICT\*の進展
- 関係人口の活用
- 新たな消費行動

地域振興の6本の柱

## 基本方針(1) あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出

- ① あつみ温泉街の景観整備
  - ② あつみ温泉街の賑わいづくり
  - ③ 魅力ある温泉観光地に向けた  
中長期戦略の検討
- あつみ温泉バラ園整備事業
  - 温泉街景観づくり事業
  - あつみ温泉集客イベント実施事業
  - あつみ温泉観光戦略策定事業

## 基本方針(2) 日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化

- ① 新「道の駅」を活用した地域振興
  - ② 既存「道の駅」の有効活用  
に向けた検討と施設整備
  - ③ 鼠ヶ関地内の賑わいづくり
- はなさき路の賑わいづくり事業

## 基本方針(3) 自然・歴史・文化を活かした交流人口・関係人口の拡大

- ① 交流人口の拡大による地域活性化
  - ② 関係人口拡大の仕組みづくり
- あつみ体験旅行推進事業
  - 関川地区活性化計画推進事業
  - 温海地域支援ネットワーク事業

## 基本方針(4) 農林水産資源のブランド化

- ① 温海地域の食文化継承による  
地域振興
  - ② 温海地域高齢農業者の  
生きがいづくり
  - ③ 地域資源を活用した  
農村集落の活性化
- 糸の文化で新たな価値創造プロジェクト
  - しなの花活用プロジェクト事業
  - 関川しな織人材育成・体験等支援事業
  - 温海地域在来作物振興事業
  - 温海地域小ロット農産物生産振興事業
  - 中山間集落モデル農林業実践事業

## 基本方針(5) 次代を見据えた自治機能とコミュニティ拠点の機能強化

- ① 時代に即した情報伝達手段の構築
  - ② 地域コミュニティの基盤強化
- ICTを活用した課題解決研究事業
  - 温海ふれあいセンター機能強化事業

## 基本方針(6) 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

- ① 資源を活かした地域活力の創造
  - ② 地域に即した交通手段の確保
  - ③ 次代を担う人材の育成
  - ④ 多様な協働による  
克雪・利雪・親雪の推進
  - ⑤ 高齢者を地域で支えあう環境づくり
- 温海地域遊休資産等利活用に向けた市場調査事業
  - 自然資源を活かした保育環境整備による定住促進事業
  - 養蚕環境整備事業
  - 温海地域公共交通網形成事業
  - 温海地域高等学校等生徒通学費支援事業

毎年見直し



## 令和2年度温海地域まちづくり未来事業・主要課題の進捗状況、令和3年度地域まちづくり未来事業 事業計画

NO	地域振興計画の位置づけ	区分	事業名	事業概要(全体)	令和2年度事業内容・目標	令和2年度事業の実施状況		令和3年度事業計画	
						実施状況	今後の予定		
1	基本方針(1) あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出	継続	あつみ温泉バラ園整備事業	老朽化したフェンス等、危険個所の修繕や段差の解消、公園内への進入路の整備などのバリアフリーを意識した改修を行う。事業期間：(R3⇒R6)	基本計画から絞り込んだ整備メニューについて、地元団体等との協議を進めながら確定作業を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月～8月にH30年度に策定された基本計画の整備項目の絞込みを作成</li> <li>・9月7日に温海公園(ばら園)の整備事業の進捗状況について説明会を開催</li> <li>・9月30日に昭和37年5月締結のばら園土地貸与契約の合意解除</li> <li>・9月30日に神社本庁審査済の土地貸与契約の締結</li> <li>・12月末に土地所有者、管理委託受注者、観光協会各代表に、事業見直しについて説明</li> </ul>	地元関係者と打合せを重ね整備項目や進め方について合意を得る。	※投資事業(基金財源)破損している照明灯の修繕指定管理者候補団体と調整	
2		継続	温泉街景観づくり事業	老木化した桜の木を植え替え、あつみ温泉の春の風物詩である桜並木の景観を維持する。また、温泉街の街路灯をLED化し、温泉街の賑わいづくりと維持管理費の軽減を図る。事業期間：(①R1(H30)⇒R3)(②R1⇒R2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①温泉街の桜15本を植栽し、付帯工事として道路及び休憩施設の復旧工事を行う。(最上川さくら回廊事業を受け植樹式を行う。)</li> <li>②温泉街中心部(観光エリア)の街路灯71基のLED化を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①山形新聞最上川さくら回廊事業による桜の苗木の寄贈を受け植樹する事業。温泉街景観への配慮のため、地元自治会及び関係者等とかがじか通りの植え替え箇所の確認、立ち合いのうえ調整</li> <li>・6～7月に伐採樹木判定のため桜調査診断業務を山形県みどり推進機構(樹木医)に委託(湯の里橋～葉月橋)</li> <li>・10/7～12/18 工事請負契約締結</li> <li>・11/7 植樹式(かがじか通りで開催)</li> <li>・①関連 R3.1/16かがじか通り休憩施設ベンチ等洗浄修繕、車止めポール設置</li> <li>②事業完了</li> </ul>			
3		継続	あつみ温泉集客イベント実施事業	話題性のあるイベント開催による知名度アップや地域の連帯感醸成に加え、来訪者増加による地域経済の活性化を図る。事業期間：(R1(H30)⇒R4)	「開湯1200年」プレイベントとして、あつみ温泉御湯興祭り(仮称)の開催を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月25日(日)にお湯興、担ぎ手衣装のお披露目式を開催</li> <li>・実施主体に対し補助金を交付し、実績報告・補助金交付は完了</li> </ul> 一般財団法人地域活性化センターに実績報告を提出済み	地域活性化センターからの助成金の交付待ち	あつみ温泉開湯千二百年の記念イベントを実施する	
4		新規	温泉街フラワー整備事業	「そぞろ歩きの楽しい温泉街」を目指し、温泉街を花で飾り、あつみ温泉への来訪動機となるような景観の整備を図る。また、地域住民の景観保全の意識を醸成する。事業期間：(R2⇒R6、R7見直し)	温泉街の景観を図るため、ばらを中心とした花を植栽し維持管理を行う事業に支援する。				
5		継続	あつみ温泉観光戦略策定事業	あつみ温泉の観光客の年齢層、性別、目的などマーケティングによる現状分析を行い、ターゲットを明確にしたうえであるべき将来像の計画を策定する。事業期間：(R1⇒R3)	温海地域の観光戦略策定に向け、専門家を交えたワークショップやセミナーを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーの委嘱済み</li> <li>・魅力づくり推進委員会を2回(7月、12月)に開催</li> </ul>	戦略策定のための会議を開催予定(2月、3月)	令和3年度前半の戦略策定にむけ、引き続きアドバイザーから指導・助言を受けながら作業を進める	

## 令和2年度温海地域まちづくり未来事業・主要課題の進捗状況、令和3年度地域まちづくり未来事業 事業計画

NO	地域振興計画の位置づけ	区分	事業名	事業概要(全体)	令和2年度事業内容・目標	令和2年度事業の実施状況		令和3年度事業計画
						実施状況	今後の予定	
6	基本方針 (2) 日沿道を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化	継続	はなさき路の賑わいづくり事業	まちづくりアドバイザーの活用によるはなさき路の再整備や、「恋する灯台」を活用した周辺エリアの魅力向上を図る。事業期間：(R1⇒R5)	はなさき路周辺エリアの整備計画策定に向け、専門家を交えたワークショップを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6/26に意見交換会開催</li> <li>・9/24に第1回はなさき路整備検討委員会を開催(鼠ヶ関自治会、観光・商工団体、漁業関係者等で組織し、オブザーバーとして山形県港湾事務所職員参加)</li> <li>・10/13に国土交通省酒田港湾事務所を訪問しアドバイザー招聘を相談</li> <li>・12/15に第2回委員会開催(国土交通省酒田港湾事務所職員オブザーバーで2名参加)</li> </ul>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観光基本戦略を策定する。コロナ禍で講師招聘も厳しい中、委員会でWSを開催し、みなとオアシス構成施設を活用した、魅力づくりに資する観光戦略を策定(令和3年9月を目途)。</li> <li>2. 恋する灯台等の観光案内板設置などを行うとともに、地元鼠ヶ関小活性化プロジェクトの意見も参考にしながら、官民連携による魅力づくりの推進を図る。</li> </ol>
7		継続	あつみ体験旅行推進事業	地域資源を活用した体験型観光の推進や教育旅行の誘致により地域経済の活性化を図るとともに、事業推進の過程で人材育成を図る。事業期間：(H28⇒R4 R5見直し)	体験型観光の推進に取り組むNPO法人自然体験温海コーディネートネットワークの活動を支援する。	新型コロナウイルス感染症のため、中止や延期となった教育旅行もあるが、逆に県内や近隣の学校からの申し込みもあり、受け入れ数は増えている。 今年度は計8校誘致		引き続き、教育旅行の受入れについてNPOを支援する。
8	基本計画 (3) 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	継続	関川地区活性化計画推進事業	関川地区活性化計画の指標である「交流人口の拡大」「地域産物(しな織関係)の販売額の増加」「イベントの開催回数の増加」の達成に向けた地域活動を支援し地域活性化を図る。事業期間：(R1(H30)⇒R2)	関川地域活性化イベント(田舎のうまいもん食堂)の開催を支援する。	実施団体(関川自治会)の判断により、「R2田舎のうまいもん食堂」R2.5.10(日)開催は中止		R3年度は地元主催による開催を検討。
9		継続	温海地域支援ネットワーク推進事業	関係人口を受入れ、活用できる体制をつくり、新たな「地域づくりの担い手」となる人材を受け入れることで、人口減少が背景となって発生する諸課題の解決を図る。事業期間：(R1⇒R5)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラムを実施(10月、11月、2月)※リモートで実施</li> <li>②地域振興課：つるおかUIターンサポートプログラム・インターンシップ受入・ローカルヒーローの発掘及びリスト作成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①東京大学FS地域交流会 <ul style="list-style-type: none"> <li>1回目：10月20日(火)＝地域ごとに、東大スタッフ及び学生(5名)と打ち合わせ。温海地域を紹介。</li> <li>2回目：11月27日(金)＝地域交流会を実施。温海地域からは、中高生やUターン者、協力隊、地域づくり実践者(計9名)が参加し学生と交流(リモート)。</li> <li>3回目：2月25日(木)＝学生の提案等発表と意見交換の場。</li> </ul> </li> <li>②つるおかUIターンサポートプログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>1月29日(金)つるおかZoomフライデイトにリモート参加＝首都圏在住で「鶴岡を知りたい、興味がある」「移住を考えている」方12名とリモートで交流。</li> </ul> </li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・明日の芽を育てるプロジェクト 高校卒業後、就職や進学のために地元を離れる若者から関係人口案内所として。故郷の魅力を発信してもらうため、地域の魅力を再発見しSNSを活用した情報発信の方法を学ぶ。</li> <li>・温海くらし&amp;しごと体験事業 温海地域の暮らしや文化、仕事を体験してもらう。</li> </ul>

## 令和2年度温海地域まちづくり未来事業・主要課題の進捗状況、令和3年度地域まちづくり未来事業 事業計画

NO	地域振興計画 の位置づけ	区分	事業名	事業概要（全体）	令和2年度事業内容・目標	令和2年度事業の実施状況		令和3年度事業計画
						実施状況	今後の予定	
10	基本方針 (4) 農林水産資源 のブランド化		糸の文化で新たな価値創造プロジェクト	鶴岡市が有する「古代（しな糸）」「近代（シルク）」の糸のコラボレーションによる新たな商品開発に取り組む。事業期間：（R1⇒R2）	継続研究として国へ計画書提出済み。	現在国県の補助事業を活用し、山形県工業技術センターより、シルクとしな布の混合紡績等の研究を行っており、3/31までに結果を報告していただく。	令和元年度～2年度で研究した成果をもとに、鶴岡シルク(株)（予定）に製品づくりに関してデザインと販売計画、販路開拓など委託しながら進める。（国県補助金活用）	県工業技術センターの結果報告を待って、鶴岡シルク(株)と協議しながら新製品の開発やデザインなどの研究等を進め、製品等の販売計画を策定する。（未来事業としての予算額はなし）
11		継続	しなの花活用プロジェクト事業	しなの花を活用した商品の販売促進や新商品開発を支援する。事業期間：（R1⇒R3）	①製品化した商品紹介のホームページ作成補助 ②しなの花を活用した新商品並びに未利用部分の実、木を活用した新商品の開発支援	・6月中～下旬に、プロジェクト研究会メンバーによるしなの花摘み作業を4回実施。採取した花約9.4kgは、しな織センターで乾燥作業を行った（乾燥後75%減少）。 ・1/20に研究会会員である、羽越のデザイン企業組合と、同じく会員である慶應先端生命科学研究所を訪問。新商品（関川しなの花ハーブティー）の開発など、しなの特性を活かす方策について、これまでの研究（国補助事業）も踏まえつつ、全般的な相談を行った。	・研究会会員である、羽越のデザイン企業組合、慶應先端生命科学研究所などと連携し、乾燥花を使った「関川しなの花ハーブティー」のモニターアンケートを実施する。	・新商品「関川しなの花ハーブティー」の香気成分の分析を行うとともに、パッケージデザインの製作など、商品化の取組みを支援する。 ・既存商品「しなの花を使ったコスメ3種」の普及、販促活動を支援する。
12		新規	関川しな織人材育成・体験等支援事業	ホームページの開設や、糸作りの体験受入等を行うことにより、関川しな織の認知度を高め全国に広めるとともに、販売促進や人材育成に繋がる取組みを支援する。事業期間：（R3⇒R5）	R3新規	R3新規	R3新規	関川しな織協同組合が行う下記事業を支援する。 1. 関川しな織ホームページ開設事業 2. 糸作り等体験受入支援事業

## 令和2年度温海地域まちづくり未来事業・主要課題の進捗状況、令和3年度地域まちづくり未来事業 事業計画

NO	地域振興計画の位置づけ	区分	事業名	事業概要(全体)	令和2年度事業内容・目標	令和2年度事業の実施状況		令和3年度事業計画
						実施状況	今後の予定	
13	基本方針 (4) 農林水産資源のブランド化	継続	温海地域在来作物振興事業	「焼畑あつみかぶ」の更なるブランド力向上や「越沢三角そば」の文化継承に向けた取り組みを支援する。  事業期間： (1)焼畑あつみかぶ ①プロモーション活動支援(R2⇒R4) (2)越沢三角そば ①そば打ち手の育成(H30⇒R2) ②プロモーション活動支援(R2⇒R4)	(1)「焼畑あつみかぶ」 ①外部有識者によるアドバイザーの活用 ②生産者自身に伝統農法という価値を再認識させる活動 ③生産年齢者のグループ等による栽培技術の習得から販売までのチャレンジ活動の支援 (2)越沢三角そば ①製粉機等の導入支援 ②打ち手の育成活動の継続 ③パンフレットの作成と温海地域でのプロモーション活動の支援	(1)「焼畑あつみかぶ」 ①コロナ禍で活動なし。②「焼畑あつみかぶ」商標登録マークのマグネットシート220枚(軽トラ等に貼る)を作成し生産者等に配布した。③焼畑あつみかぶ栽培チャレンジサポート事業として、公募の2グループが活動を行い、それぞれ焼畑あつみかぶを収穫した。山五十川若者グループ(4人)は山五十川で開催された「玉杉ふれあい市」等で販売し12月25日に活動を終了した。(別紙)萬国屋グループは自社でのかぶ漬け製作や生かぶの館内販売や古窯への提供など幅広い活用を行い12月23日に活動を終了した。 (2)越沢三角そば ①②③5月27日の生産組合会議時に市の事業計画を説明し了解を得た。①県補助事業「農山漁村地域持続的発展活動支援事業」により12月19日に製粉機、石抜き機、真空包装機を導入した。市としても上乘せ補助により支援。②9月13日に第1回目の活動を行った。③パンフレットの校正作業を行っている。温海温泉旅館でのプロモーション活動は、内諾が得られた萬国屋と打ち合わせを行い「まやのやかた」で打った越沢三角そばを「年越しそば」として当日の宿泊者に提供された。	(1)「焼畑あつみかぶ」 ①コロナ禍の状況を勘案しながらアドバイザー予定者(越後氏)と調整 ②マグネットシート使用状況や効果等の把握 ③事業の継続に向けた検討  (2)越沢三角そば ①補助金の交付 ③実施主体でパンフレットの校正を重ねて年度内に完成させる。また、萬国屋でのプロモーション活動協議	(1)「焼畑あつみかぶ」 ①焼畑あつみかぶ首都圏での情報発信 ②実施主体において焼畑あつみかぶ栽培チャレンジサポート事業の継続 ③プロモーション活動支援 ・焼畑あつみかぶブランド力向上対策協議会HPのリニューアルする。 ・焼畑あつみかぶの被り物(3個程度)の制作を支援する。 ④アドバイザー委嘱による商品開発・ブランディング活動を支援する。 ⑤焼畑伝統農法の振興活動支援(新規) 焼畑あつみかぶブランド力向上対策協議会がスギの枝葉をスギ林の伐出現場から指定集積場所まで運搬する活動を行うのでその費用を支援する。 (2)越沢三角そば ①そば打ち技術の承継活動 ②あつみ温泉旅館でのそば打ち実演・試食プロモーション活動 ③登録済商標を活用したPR媒体の作成支援
14		継続	温海地域小ロット農産物集荷システム整備事業	(株)クアポリス温海が行う小ロット農産物等の集荷作業や仕分け作業を支援する。小ロット集荷販売用の車両(森の産直カー)導入に対して支援をする。事業期間：(H30⇒R2)	クアポリス温海が森の産直カーを利用して行う、小ロット農産物の集荷作業と仕分け作業に係る人件費を支援する。	(株)クアポリス温海からの申請に基づき補助金は交付決定済み。現時点においてもコロナ禍の影響や鳥獣被害等により農産物の集荷量が減少している。	実績報告が提出された後に補助金の交付を行う。	
15		継続	鳥獣被害防止対策モデル事業	(株)クアポリス温海が事業実施主体となり、農家に電気柵を有料で貸し出して、そこで生産された小ロット農産物を「しゃりん」が集荷・販売する。実施主体が貸し出し用電気柵の購入する際には市で補助をする。事業期間：忌避作物による検証(R1⇒R1) 電気柵の貸し出し(R2⇒R6)	「しゃりん」(クアポリス温海)が農家に電気柵を貸し出して、小ロット農産物の生産量増加を図り、その農産物を産直が集荷・販売していくことで高齢農家の生産意欲の向上を図る。貸し出し用電気柵の購入に対しては市で支援をする。			

## 令和2年度温海地域まちづくり未来事業・主要課題の進捗状況、令和3年度地域まちづくり未来事業 事業計画

NO	地域振興計画の位置づけ	区分	事業名	事業概要(全体)	令和2年度事業内容・目標	令和2年度事業の実施状況		令和3年度事業計画
						実施状況	今後の予定	
16	基本方針	継続	小ロット農産物生産振興事業	効率的な産直活動に資するため、複数ある産直組織を再編し、温海地域での新たな産直組織(形態)づくりを目指す。 事業期間:組織の一本化はR4まで 小ロット生産技術の習得支援(「畑らいふ」スタート事業)(R2⇒R5)	①産直組織の集荷や販売一本化に向けた検討を開始するとともに、研修会や先進地視察により関係者間で情報の共有を図る。 ②「野菜づくり」に関心のある生産年齢者を集め、産直組織の構成員が講師となり「野菜づくり」を体験・学習させることで、小ロット農産物生産技術を習得させる。	①コロナ禍で視察研修ができなくなっている。 ②畑らいふスタート支援事業は4グループが鼠ヶ関地内の実施圃場であつみ天パク会の指導を受けながら野菜づくり活動を行った。12月13日に指導者と活動者が一堂に会した検討会を開催し今年度の活動を終了した。	①産直組織代表者等による話し合いの場を設定する。 ②「畑らいふスタート支援事業」の継続を見据えた「あつみ天パク会」指導者等との打合せを行う。	①畑らいふスタート支援事業の継続 ②産直組織活動基盤強化 ③新たな小ロット農産物等の販売機会の創出(新規) ※販路拡大のため生産者自らが出店販売する場(軽トラ市)を「温海農林水産まつり」として実施する活動を支援する。
17	(4) 農林水産資源のブランド化	新規	中山間集落モデル農林業実践事業	再造林の推進と皆伐跡地での焼畑農法をセットにした仕組み作りを支援し、森林からの安定的な収入や雇用の確保、伝統農法の継承、林業の振興を図り、活力ある中山間集落の維持につなげる。 事業期間:(H27⇒R4)	①再造林の推進と焼畑あつみかぶの栽培を組み合わせた森林循環の仕組みづくり。 (かぶ栽培予定地 小菅野代) ②令和元年度のコンサル結果に基づくかぶ販売戦略等の具体策検討。	5月12日 2,700千円 補助金交付指令 9月3日 コンサル結果に基づく実施主体との具体策の検討(第1回) 10月13日 今年度の進捗状況確認と予算要求前協議 11月3日 森林循環の仕組みづくりの紹介(温海文化祭への出店) 11月15日 森林循環の仕組みづくりの紹介(庄交トラベルツアーの受入れ) (6月中旬 刈払い 地拵え 8月6日 火入れ 播種 9月28日 収穫・販売開始 11月初旬～ プレミアムかぶ漬け販売開始 11月28日 皆伐地へのスギ植栽)	・第2回実施主体との検討会 (R2状況確認・R3の計画) ・R3栽培予定地皆伐作業)	①再造林の推進と焼畑あつみかぶの栽培を組み合わせた森林循環の仕組みづくり。 かぶ栽培予定地 早田字戸ノ浦 1.0 ha (6月中旬 刈払い 地拵え 8月 火入れ 播種 10月 収穫・販売開始 12月 スギ植栽) ②令和2年度検討した具体策の取組支援 ・インターネット販売での販路拡大 ・規格外品の販路開拓 ・地元での価値の浸透促進活動
18	基本方針(5) 次代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化	継続	ICTを活用した課題解決研究事業	地域課題解決手法として、ICTの活用を検討し、生活支援サービスも含めた新たな情報伝達システムの調査研究を行う。 事業期間:(R1⇒R3)	①事業打合せ(地域課題解決マッチング会 提案企業との打合せ) ②ICT講習会(勉強会)の開催	・地域課題解決マッチング会提案企業との打合せ ・自治会長会においてIP告知端末を紹介 ・個別有線放送設備(2自治会)の実態把握と個別型の仕組みの検討 ・国の導入支援事業の情報共有	・ICT技術活用に関する意向を把握するため、個別自治会に対するヒアリング	・ICT技術活用の有効性も含め、集落ビジョンの策定を支援 ・ICT講習会の開催や先進事例の収集、調査検討を支援 ・導入時の費用負担のあり方検討
19		新規	温海ふれあいセンター機能強化事業	地域コミュニティの拠点となっている温海ふれあいセンターの長寿命化により、市民の望む生涯学習機会の創出、充実を図る。 事業期間:(R1⇒R9)	①施設の現状把握 ②施設の利用促進に向けた検討 ③施設の長寿命化計画の策定	・温海生涯学習振興会に、委託業者等による施設・設備の定期点検報告書等の整理等現状把握を依頼 ・温海生涯学習振興会で、利用者に対して生涯学習に関するアンケートを実施	・現状把握後に検討を進める。	9月まで長寿命化計画(修繕計画)を策定し、それに基づく施設の機能維持強化を進めるとともに、アンケート調査の結果を踏まえた利用拡大に資する取組を実践

## 令和2年度温海地域まちづくり未来事業・主要課題の進捗状況、令和3年度地域まちづくり未来事業 事業計画

NO	地域振興計画の位置づけ	区分	事業名	事業概要(全体)	令和2年度事業内容・目標	令和2年度事業の実施状況		令和3年度事業計画
						実施状況	今後の予定	
20	基本方針 (6) 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	継続	遊休資産等利活用に向けた市場調査事業	遊休資産、特に廃校の利活用について、市場性の有無や事業スキームを、想定される事業者との対話により検討を行い、その活用の実現を目指す。 事業期間：(R1⇒R5)	①活用事例の収集 ②廃校活用のイメージづくり、条件整理 ③必要に応じて集落懇談会を開催	【旧五十川小学校】 ・市アドバイザー制度の活用 ・7月18日(土)：旧五十川小学校利用検討委員会設立会議 ・8月30日(日)：ワークショップ(井東敬子氏) 【情報収集】 ・9月30日(水) サウンディングセミナー(リモート参加) ・1月21日(木) 東北ブロックサウンディング(リモート研修) ・2月5日(金) 廃校活用マッチングイベント(リモート参加) 【第一地区役職員研修参加】 ・11月28日(土) 酒田市日向地区研修視察		・サウンディング実施要領の検討(庁内検討) ・サウンディング型市場調査の実施 ・集落座談会等による住民対話 ・廃校活用関連セミナー等への参加 ・地区自治会役職員研修会への参画
21		新規	温海地域自然資源を活かした保育環境整備による定住促進事業	温海地域の特色ある自然資源を活用し、「生きる力を育む教育」の実践のため保育環境整備を行う。魅力ある教育の推進により、子育て世代も安心して暮らし続けられる基盤づくりを進め、農山村への子育て世代の流入に取り組む。 事業期間：(R1⇒R4)	①事業実施体制の整備 ②ワークショップ、講演会、先進事例視察の実施 ③自然体験活動の開催支援	・荘内銀行ふるさと創造基金300千円、こどもゆめ基金419千円採択により財源確保 ・保育園実施主体との協力体制確立、講師選定と依頼を行った。 ・保育士研修会と地域資源を活かした保育体験事業の講師との詳細打ち合わせ。 ・保育士研修会2回、レゴシリアスプレイ研修会1回、ワークショップ1回開催 ・次年度事業推進会議開催	次年度事業準備	・第2期鶴岡市子ども子育て計画基本理念「恵まれた豊かな自然と、歴史と伝統ある文化を活かし、子ども・家庭・地域がともに元気に育つまち鶴岡」を目指し、保育環境整備に取り組み、魅力ある子育て環境による農山村への子育て世代の人口流入に取り組む。 ・令和2年度「生きる力を育む教育」に」取り組み、保育士研修をはじめ、地域の特色を体験できる保育園づくりのため支援を行ってきた。 令和3年度は、保育園への支援と同時に小学校との連携や関係人口取り組みへと事業展開を行っていく。
22		継続	温海地域公共交通網形成事業	路線バスの減便や廃止など地域公共交通網の現状を踏まえ、地域に即した新たな住民の「移動手段」の確保を図る。 事業期間：(R1⇒R4)	①新たな移動手段(乗合タクシー)の試験運行及び検証(試験運行は10月から実施予定) ②集落懇談会等での意見聴取	・温海地域公共交通運営協議会設立 ・集落座談会で運行計画に関する意見交換 ・試験運行の開始(10月1日～) ・住民満足度調査の実施(12月) ・小菅野代集落の特別運行を試験的に実施(12月) ・野村総研を交えた検討会の定期的実施(スクールバス混乗、乗合タクシーICT化の検討)	・6月1日改定に向けた諸準備 ○運行計画作成 ○運行部会、協議会の開催 ○道路運送法上の手続き ・ICT活用について検討継続	〈交通輸送対策事業で実施〉 ・乗合タクシー試験運行の継続 ・特別運行(3集落)の実施 ・スクールバス混乗の検討
23	継続	高等学校等生徒通学費支援事業	地理的要因により通学費負担の大きい温海地域の高校生世帯に対し、通学費の一部を支援する。 事業期間：(R1⇒ )	高校生世帯に対する通学費支援	・2月末までに87件(実人数52名)の申請を受理 【参考】令和元年度交付実績は、93件(実人数68人)	・引き続き、月2回の集中事務処理 ・定期的な制度周知	高校生世帯に対する通学費支援の継続	



## 令和2年度温海地域まちづくり未来事業・主要課題の進捗状況、令和3年度地域まちづくり未来事業 事業計画

NO	地域振興計画の位置づけ	区分	事業名	事業概要(全体)	令和2年度事業内容・目標	令和2年度事業の実施状況		令和3年度事業計画
						実施状況	今後の予定	
24	—	継続	【総務企画課】 あつみ未来塾	地理的要因により学習塾等での学習が困難な生徒(温海中3年生)に対し、あつみ地域未来塾を開講し、学習支援を行う。	あつみ地域未来塾を9月から2月まで、土曜日の午前中に温海ふれあいセンターにおいて20回開講する。冬季間においては、福栄地区の生徒に対しサテライト塾を10回開講する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温海中学校とは、今後の予定等について打合せ済み(6月11日)</li> <li>・講師陣8人(継続3人、新規5人)で実施中</li> <li>・受講生35人/3学年47人中</li> <li>・受講科目5教科</li> <li>・9月12日～19回実施(1/9悪天候により中止)</li> <li>・うち9回は、福栄地区(木2、越1、川1、温1)の生徒を対象にサテライト塾を開講(木野俣会場)</li> <li>・最終日に入試壮行式を実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月から翌年2月まで、土曜日の午前中に計20回開講予定</li> <li>・夏休み中に、1泊2日の合宿を予定(金峰少年自然の家、楯山荘)</li> <li>・サテライト塾は10回を予定</li> </ul>
25	—	新規	【総務企画課】 洪水ハザードマップ作成業務	水防法の改正により、山形県が管理する河川については、平成29年度から順次、洪水浸水想定区域の見直しが行われている。五十川・温海川・庄内小国川・鼠ヶ関川については令和2年1月31日に新たな洪水浸水想定区域が公表されたことから、対象河川に係る新たな洪水ハザードマップを作成する。	令和2年1月に公表された新たな洪水浸水想定区域を基に、設定する想定最大降雨量や立地条件等について住民理解を得ながら、新たな浸水想定区域図に対応した避難所や避難経路を設定してハザードマップを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月30日(株)エイト(コンサル)と、ハザードマップ作成業務に係る委託契約締結</li> <li>※委託契約は、三瀬川も含めて防災安全課で一括契約締結</li> <li>・8月19日(株)エイト(コンサル)との事前打ち合わせ</li> <li>・11月19日 第2回温海地域自治会長会議において、4河川流域の全集落を対象に全体説明会を実施</li> <li>・12月19日 全体説明会の結果を踏まえた意見交換会を実施(関川、鼠ヶ関、楨代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月 ハザードマップ完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報つるおか5月号にハザードマップを折り込み、対象集落世帯へ配布</li> </ul>
26	—	新規	【総務企画課】 浜中自治会・早田自治会施設譲渡事務	公民館として自治会へ貸付している私有財産(旧かもめ保育園、旧早田保育園)を譲渡し、住民の福祉向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①建物を各自治会へ無償譲渡する。(令和3年4月1日)</li> <li>②施設の根幹部分の修繕費用について、公民館類似施設整備補助金(特別枠)を交付し支援する。(令和3年度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜中自治会、早田自治会へ譲渡までのスケジュールについて説明済</li> <li>○地縁団体</li> <li>・浜中自治会臨時総会で、規約改正、地縁団体認可申請等を議決。(8月30日)</li> <li>・12月に地縁団体認可済</li> <li>○建物譲渡</li> <li>・3月議会へ「建物の無償譲渡議案」提出</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○建物譲渡</li> <li>・令和3年4月1日付け譲渡</li> <li>・登記申請手続き支援</li> <li>・建物工事入札手続き支援</li> <li>○公民館類似施設特別整備補助金</li> <li>・補助金交付事務</li> </ul>



## 令和2年度温海地域まちづくり未来事業・主要課題の進捗状況、令和3年度地域まちづくり未来事業 事業計画

NO	地域振興計画の位置づけ	区分	事業名	事業概要(全体)	令和2年度事業内容・目標	令和2年度事業の実施状況		令和3年度事業計画
						実施状況	今後の予定	
27	—	継続	【市民福祉課】 介護予防事業の推進	高齢者の健康維持と介護予防を推進するため、介護予防活動を自主的に実施する団体に継続して活動を行えるよう支援する。	①地域介護予防活動支援事業実施8団体が円滑に事業を実施できるよう、助言・情報提供を行う。 ②自主活動15団体に対しては、活動状況の把握・保健師等による健康教室開催による支援。昨年度、ICT活用による健康教室開催により、これまで介護予防に取り組んだことのない集落が取り組みを開始したことから、今年度もICT活用による支援を行う。	・地域介護予防活動支援事業補助金申請受付7団体。 ・コロナ感染予防のため、1団体は今年度の実施を見送った。 ・各集落高齢者自主活動現状調査(自主団体8団体、老人クラブ健康活動10団体、健康教室・百歳体操等開催3団体) ・総務企画課と連携し、ICT活用による活動支援を図った。	事業完了 ・今年度事業取組み評価と課題検討 ・次年度事業検討	・地域介護予防活動支援事業実施団体並びに介護予防活動を自主的に実施する団体への支援を行う。 ・温海福祉センター、包括支援センターと連携し、高齢者の健康維持と介護予防に取り組む。
28	—	継続	【市民福祉課】 全世代全対象地域包括ケア推進	住み慣れた地域での暮らしを守るため、温海福祉センター、地域包括支援センターあつみと連携し、個別ケース対応のほか、地域の生活支援体制整備と課題解決に取り組む。	・関係機関の情報共有と地域ケアネットワーク会議の開催により、地域課題の探求 ・昨年度より取り組んでいる買い物支援の継続と今年度より認知症予防事業の実施支援 ・昨年度温海福祉センターで行った引きこもり調査の継続と対策事業の試行支援	三者連携会議により今年度事業実施確認 ・コロナウィルス感染拡大防止のため、不要不急の外出を避ける取り組み期間中、一人暮らし等の方々にハガキによる安否・状況確認を三者連携により行った。 ・あつみ福祉会協力のもと、買い物支援事業実施(小国、菅野代) ・各地区で地域ケアネットワーク会議を開催し、認知症をテーマに取り組んだ。 ・天魄会の協力のもと、引きこもり者を対象に「のうふクラブ」を開催し、畑づくりに挑戦した。	事業完了 ・今年度事業取組み評価と課題検討 ・次年度事業検討	・地域ケアネットワーク会議(地区福祉懇談会)開催により、地域課題の探求及び情報提供を行う。 ・令和2年度実施事業の評価と課題を温海福祉センター・包括支援センターとともに検討の上、令和3年度事業展開を模索し実施する予定

## 令和2年度温海地域まちづくり未来事業・主要課題の進捗状況、令和3年度地域まちづくり未来事業 事業計画 (追加資料)

NO	地域振興計画 の位置づけ	区分	事業名	事業概要(全体)	令和2年度事業内容・目標	令和2年度事業の実施状況		令和3年度事業計画
						実施状況	今後の予定	
	基本方針 (6) 海・山・自然 豊かに暮らし 続けられる環 境整備	新規	養蚕環境整備 事業	鶴岡シルクタウンプロジェ クトにおける一貫工程の土 台を守りつつ、年金プラス αとしての取組を継続し、 中山間地域の高齢者の生き がづくりとして、住み慣 れた地域でいつまでも幸せ に暮らし続けられる環境整 備に資する。 事業期間：(R3⇒R7)				福栄養蚕振興会への補助 <取り組み内容> ○適正規模の飼育管理 春蚕 40,000頭 晩秋蚕 35,000頭 の飼育で状況把握 ※桑園は、令和2年度までで一定規模を確 保  ○繭生産だけでなく、真綿等を活用した付 加価値づくりにもチャレンジ ○農山漁村振興交付金によるIOT技術を活用 した飼育管理